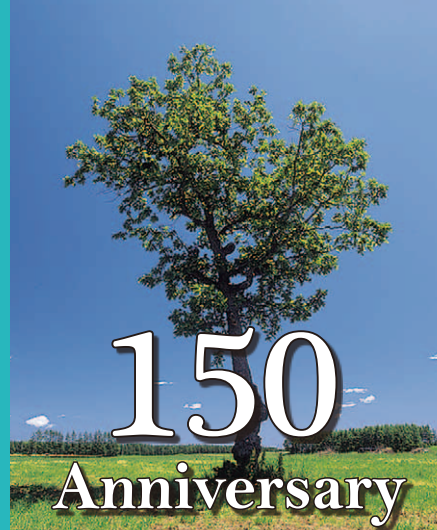


豊かさ・安心・笑顔あふれる夢大地

さらべつ議会

平成26年11月10日 発行／更別村議会 編集／議会運営委員会



更別村議会だより150号記念号



農村公園 大型遊具広場

農村公園内に子ども向け的大型遊具広場がオープン。十勝管内でも屈指の規模を誇る大型遊具を備えた遊びの広場。ご家族で気軽にお越しください。

特集



1 住民座談会

情報発信で若い人の移住を

6

谷垣良一
浅井信昭
山本和昭
渡邊正和
浅井幸子

2 今、なぜ活性化なのか？

10

7人 議員討論！

・年表：写真で見る…

2

いつまでも住み続けたいまちさらべつ

平成25年度

6 会計決算を認定…

14

国に対し

意見書を提出…

17

委員会レポート…

18

そこが聞きたい

「Q & A」一般質問…

20

審議結果・議会日誌…

22



年表



1



2



3



4



5



6



7



8



9



12



13



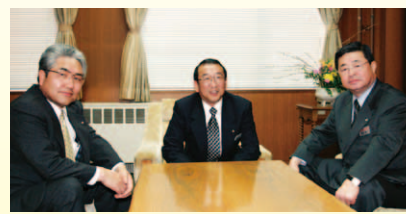
10



14



15



11

1 議会だより創刊号発行 昭和52年8月

2 議会だより第50号発行 平成元年12月

3 議会だより第100号発行 平成14年5月

4 平成14年10月 福祉の里総合センター供用開始

5 平成14年11月 更別農業高校創立50周年記念式典挙行

6 平成14年12月 阿部忠男氏が村史上6人目の名誉村民に

7 平成14年12月 第4回定例会で市町村合併調査特別委員会を設置

8 平成15年4月 安村豊治氏2期無競争で村長に当選

9 平成15年5月 第15期村議会議員選挙、議長に渡辺春雄氏就任

10 平成15年7月 国内初のトラクターリース「国際トラクターBAMBA」開催

11 平成15年12月 幕別町、忠類村との町村合併を協議する法定協議会「十勝中央合併協議会」設置

12 平成16年5月 広報さらべつ500号を発行

13 平成16年9月 開村記念日の9月1日に「開拓100年記念式典」を挙行

14 平成16年10月 国民健康保険診療所の移転改築工事が終了、新しい施設での診療業務がスタート

15 平成16年11月 上更別地域共同店舗「ポピーマート」がオープン

16 平成16年11月 合併の是非に関する

04年 (平成16年)

2003年 (平成15年)

2002年 (平成14年)



Time line



19



18



22



20



26



27



23



21



16



25



24



17

27 平成19年11月 更別中央中学校開校30周年記念式典挙行

26 平成19年9月 林清氏が村史上7人目の名誉村民に

25 平成19年5月 第16期村議会議員選挙から議員定数を4人削減し8名となる。議長に木山幸則氏就任

24 平成19年4月 29年ぶりに村長選挙が行なわれ、岡出誠司氏が第8代村長に当選

23 平成18年9月 天皇皇后両陛下が本村を御行幸、本村の大規模農業を御視察

22 平成18年2月 更別幼稚園の移転改築工事が終了、新しい施設での幼児教育がスタート

21 平成18年2月 大津広美さんがトリノ冬季オリンピックにスピードスケート代表として出場

20 平成18年1月 ニチロ十勝食品(株)(現株マルハニチロ北日本)の新工場が竣工

19 平成17年11月 宮城県東松島市と友好姉妹都市の盟約を締結

18 平成17年10月 高橋はるみ北海道知事が来村

17 平成16年12月 更別小学校開校80周年記念式典挙行

合併協議会から離脱

住民アンケートを実施、6割以上が「自立」と回答し、十勝中央

2007年(平成19年)

2006年(平成18年)

2005年(平成17年)

20



年表



28



29



36



32



30



33



31



35



34

28 平成20年3月 医療法人北海道家庭医療学センターとの間に村診療所の医療業務、医師の派遣などに関する協定を締結

29 平成20年8月 社会福祉法人博愛会が運営するコムニの里さらべつ開所

30 平成20年11月 2月の第3日曜日をシンボルデーとする「更別村教育の日」を制定

31 平成21年2月 第29回全国中学校スケート大会の学校対抗で男子優勝、女子準優勝の快挙

32 平成21年12月 新しい「更別憩の家」が供用開始

33 平成22年4月 小中学校に入学する児童・生徒の保護者に入学祝金の贈呈を開始
34 平成22年11月 上更別小学校開校80周年記念式典挙行

35 平成23年3月 東日本大震災発生、友好姉妹都市の東松島市でも甚大な被害

36 平成23年4月 岡出誠司氏2期無投票で村長に当選

37 平成23年5月 第17期村議会議員

11年 (平成23年)

2010年 (平成22年)

2009年 (平成21年)

2008年 (平成20年)



Time line



40



37



41



39



38



45



43



42



47



44



46

47 平成26年3月 更別農業高校がすももを使った特産品開発の研究発表会を開催

46 平成25年12月 村のふるさと融資制度を初めて活用した「ティー・ワイさらべつソーラーパーク」が落成

45 平成25年10月 村とJA青年部との共催で「さらべつ大収穫祭」を開催

44 平成25年3月 高規格幹線道路帯広・広尾自動車道の中札内ICと更別ICが開通

43 平成25年1月 社会福祉法人元気の里とかちが運営するグループホーム「元気の里さらべつ」移転新築

選挙、議長に木山幸則氏就任

42 平成24年12月 阿部東松島市長が来村、被災状況や復興状況など説明

41 平成24年9月 広報さらべつ600号を発行

40 平成24年6月 福祉の里温泉の入浴者、百万人を達成

39 札幌交響楽団更別公演を開催

38 平成24年5月 開村65周年を記念し、さらべつすももの里まつり



特集 1

住民座談会

「更別村議会だより」が、昭和52年創刊から150号を迎えることができました。記念特集として「住民座談会」を特別企画致しました。

ご出席の皆さま方は以前更別以外の自治体に住んでおられ更別へ移住してきた5人の方々です。

豊かさ・安心・笑顔あふれる夢大地さらべつで残りの人生をエンジョイのためお話を伺うことといたしました。

で若い人の移住を・・・



——議会だより150号記念特集号の発行にあたり住民皆さんの忌憚のないお話をお願い致します。

まず、更別村の印象と人柄について、一番バッターで谷垣さんにお聞きします。

谷垣 この村は、お年寄りが大変元気なんです。若い人もたくさんおられますし、年寄りが80歳になってもまだ元気でパークゴルフしたり、スポーツに精をだしておられるということで、ビックリしました。施設も十分整っていますし、私が以前いた町なんかと比べてまでも非常に、施設も十分整っているということ、すごいなと関心しています。人間関係ですけど、本当に難しいなというような気がするんです。私どもの動向がつつぬけになっているとか、そういうふうなこともいっぱいあったりして、住み良いところあるん

■以前いた町とは施設が充実…谷垣

ですけども、住みにくいところもある。

浅井(信) 元々の動機が広くてのびのびした所に行きたいということだったので100%叶えられたかなと思ってます。今まで住んでいた所は、人や車が多くの家ばかりという環境だったので、正反対の所で生活できてラッキーなわけですね。こちらに来てそれはすごく良かったと思っています。冬の雪は、最初のころはすごく参りました。でも、しっかり除雪してもらえるので、車で走るのは思った以上に楽ですし、冬でも結構快適に生活できているのは良かったと思います。反面、春から夏に曇ったり、霧が出てきて結構憂鬱な気候というのが想定外でしたけども、生活はエンジョイできています。

山本 人がやさしいなと思いました。最初来たばかりのときは、回りの皆さんにだいぶ手助けしていただいた、なんとか今までやっていきますけど、まずは、人がやさしいという印象でしたね。

——更別への移住のきっかけは。

浅井(幸) 定年後の生活として、悠々自適の家庭菜園を中心にしたかったの、安くて広い土地を探しました。そ

■悠々自適の家庭菜園を…浅井(幸)



れは多分本州あたりではないんじゃないかなと勝手に自分で想像して、北海道だったらあるかなということでした。最初は都道府県会館で忠類のせせらぎ団地を紹介されたんでそこを目指していたんです。

谷垣 学生時代に年から年中、旅行してまして、その時に北海道へも何度来ました。その時に狩勝峠を越えた途端、ぱーっと広い十勝平野が見えたんですね。そのときの感激を40年間持ち続けておりまして、仕事が落ちついたらそのうち十勝に住みたいという思いがずっとあったんです。60歳の時に思いきってこっちへ来て、土地を探しました。別に更別でなくても良かったんです。十勝に住みたかっただけです。私も60歳を越えてましたし、やっぱり病院が近いとか、買い物に近いところで出来るとか、そういうことが重



暫時休憩

昭和22年開村以来の更別村議会の沿革をご紹介します。

- 昭和22年 大正村から独立、更別村第1期
村議会議員選挙（定数16名）
初代議長に原信夫就任
- 昭和26年 第2期村議会議員選挙（定数22
名）
議長に原信夫就任
- 昭和30年 第3期村議会議員選挙（定数16
名）
議長に西田類次就任
- 昭和34年 第4期村議会議員選挙
議長に西田類次就任
- 昭和38年 第5期村議会議員選挙
議長に岡 梵就任
- 昭和42年 第6期村議会議員選挙
議長に高橋貫一就任
- 昭和46年 第7期村議会議員選挙
議長に村瀬勘一就任
- 昭和50年 第8期村議会議員選挙から議員
定数を2人削減し14名となる
議長に村瀬勘一就任
- 昭和52年 議会だより創刊
- 昭和54年 第9期村議会議員選挙
議長に村瀬勘一就任
- 昭和58年 第10期村議会議員選挙
議長に村瀬勘一就任
- 昭和62年 第11期村議会議員選挙
議長に中山正一就任
- 平成元年 議会だより第50号発行、議会○
Bとの座談会、読者との座談会
を開催
- 平成3年 第12期村議会議員選挙
議長に中山正一就任
- 平成5年 第1回十勝町村議会議員パーク
ゴルフ大会、更別村で開催
更別村議会が全国町村議会議長
会より表彰を受ける
- 平成7年 第13期村議会議員選挙
議長に高木光雄就任
- 平成11年 第14期村議会議員選挙から議員
定数を2人削減し12名となる
議長に渡辺春雄就任
- 平成13年 議会だより第100号発行
子ども議会開催（小学校）
- 平成15年 第15期村議会議員選挙
議長に渡辺春雄就任
- 平成19年 第16期村議会議員選挙から議員
定数を4人削減し8名となる
議長に木山幸則就任
- 平成23年 第17期村議会議員選挙
議長に木山幸則就任
- 平成26年 議会だより第150号発行、住民
座談会を開催



情報発信

要な点ではないかなという考えがありました。本当はもつと山の方の居ない所に住みたいなとずっと思つていたんですけど、やっぱり年取ってからそういうところに住むのは、大変だろうなということもありまして、ちょうど更別のオークビレッジに適当な土地があり、日高山脈がきれいに見えるということもありまして、結果として更別村に來たんです。

——若い方お二人ともそれぞれ事業をしています。移住してきたきっかけは何だったんでしょう。渡邊さんから。渡邊 村だったっていうこと。村に住もうと思つて、中札内か更別だったんですけど、更別に相談に來たときに店をやるんだつたら創業の支援もあるし、住宅の補助もあるということで更別の方になりました。

■各種の支援事業が魅力…渡邊

中札内は分譲地みたいところしかないみたいな感じで言われて、更別ならもうちよつと探せばあるかなということで、それで住んでみて探そうと思つて。

——議会だよりを見られていますか。ご意見等があれば参考にさせていただきます。谷垣 私は、もう7年目になるんですけど、最初の2、3年間は時々議会の

方も傍聴させていただいたんですけども、その当時、地名も分からないし、今議会で話題になつていても、全然わからない状態で傍聴させてもらつたもんですから、全然関心がない、面白い話でもなかったわけですけども。やっぱり議会というのは、行政の監視役という立場もあると思うんです。広い土地に人口が少ないということもあつたりして、人間関係が非常に密であ

■移住雑誌に更別はない…渡邊

る。そういうことが影響しているかわからないですけど、村の土地とか公共の土地を個人的に使用したり、公私が全然区別がつかないところが多々あるなと。そういうことを議会の方でもきっちり取り上げて、解決していただいたほうが、周辺住民の迷惑にもならず済むんじゃないかと思つたりしています。

山本 住民の意見は反映されると思つているんですけど、正直、申し訳ないですけど傍聴したことがないんです。ありきたりですけど住みやすい村にしておいて欲しいなと思うだけです。浅井（信） 傍聴に行ったこともありませんが、特別子育て世代とか体に故障を抱えて皆さんに願つてという状況でもないもんですから、関心が乏しくなつていまして、まあなるようになって



特集 1

住民座談会



ていけばいいなと思っています。議会だよりは必ず見るようにはしていますがどね。この頃テレビなんか見ますと地方議員の不祥事がよくニュースで流れるんですが、悪いことだけはないようにしていただきたいとは思っています。

渡邊 正直いって、あまり良くわかりません。聞きに来たこともないし、選挙自体もなかったの。なにか、決まっているのかなみたいな感じの、特別何か困っていることもないし、子育てに関しては結構手厚いのではないかなって感じで、思ったよりは若い人が多く、子どもも多いので、今、保育園に行っているんですけど、もっと子どもが少ないのかと思ったら結構多いし。**浅井(幸)** こはナイター議会ってやっていますよね。そういうの初めて聞いたので、すごいなと思っています。

■しっかりと農業を未来へ…浅井(信)

それから予算を決めることが、重要だと思うんですけども、やっぱり除雪とかそれから保育園なんか、そういうところに手厚いということは、そういう方針でやってくれてるので、このまま、そういつてくれたら良いなと思っています。決して、箱物だけは増やさないで、中身を充実してほしいな。この路線で行っていただきたいと思っています。議会だよりを見ていると、ちゃんと質問される方もいますし、良いんじゃないかと思っています。

—— 将来の更別村に、どんな町になってほしいかご意見をおききたいと思っています。

谷垣 私なんかは今が良いですけど、もう少し年を取って車に乗れなくなったりしたときを考えると、やっぱりスーパーのように何でもそろそろようなお店がもう少し充実してほしい。上更別にはポピーマートがありますけど、やっぱり品揃えも少ないですし、どうしてもまとめて買うときには帯広へ行ったり、中札内のスーパーに行ったりしますね。どうしても足りない、こういうのが欲しいっていう時にポピーマートに行つて買い物したりするんですけど、

■新規就農土台づくり必要…山本



ど。経営も難しいと思うんですけど、もう少し品揃えもあれば不安も解消されるのかなと思います。**渡邊** 移住雑誌とかにあまり更別がでていないと思うんだけど。中札内はどんどん出ているし地名度があるけど、更別って全国的には知られていないですね。

山本 東京で年に何回か新規就農者の説明会があるんです。大樹、中札内、後は忠類、豊頃、浦幌とかはあるんですけど、更別だけ抜けているんですよ。

—— 更別村には定住化促進で早くから分譲地を売り出しています。住み心地はどうですか。

浅井(幸) 面積的には私達はあれで良いと思います。問題は石が多いこと。

谷垣 上更別のオークビレッジには住宅が4軒建っているけど、1軒は別荘みたいだし、もう1軒も半年ぐらいし

副議長

平成7年12月	237,000円
平成15年7月	220,000円
平成17年4月	193,000円

委員長

平成7年12月	212,000円
平成15年7月	197,000円
平成17年4月	173,000円

議員

平成7年12月	187,000円
平成15年7月	173,000円
平成17年4月	152,000円



かないから、通年いるのは私ぐらいです。村の人は色々気を使ってくれて協力してくれたりしますけど、私の土地は間に村の土地が入り組んでいたり、公共の場所があったりで、掃除したり草刈ったりする人が誰もいないわけで、私がいつも一人でやっています。

——これから長く更別に住むわけですが、最後にそれぞれのメッセージをお聞かせください。

浅井(信) 私は農地・水の仕事をしている関係で農家さんと接点があるんですけど、とにかく更別村の基幹産業は農業、たというのは間違いないし、この先もそれは続いていくだろうと思います。TPPなど情勢は変化していくかもしれませんが、農業だけはきちんと未来へ更別村のために皆さん、頑張っていて欲しいなと思っています。

渡邊 お客さんに店に来てもらって、更別村の発信ができるように頑張っていきます。

谷垣 これからもお年寄りが元気な村にして欲しいなと、私もお年寄りのうちなんですけども、まだ、若い方です。これから70、80になっても、やっぱり元気で働けるような村にしてほしいですね。それから、若い人がどんどん移住してくるような元気な村になれば良いなと思います。今、スピードウェイでソーラーの工事をやっていますよね。どうも環境としつくりしない

んです。緑がどんどん削られて行つて、自然豊かな村が破壊されて行くような非常に残念な気がします。



山本 新規参入のしやすい村になるといいなと思います。自分みたいに村外から来た人を受け入れる土台がもうちょっとできていけばいいなと思うんです。子どもが増えている町では、新規就農の家族持ちの人を受け入れて、そこで定着しているんですね。それで、徐々に子どもが増えてきているという話を聞くので更別ももうちょっとそういうふうになつたらいいのになと思うんです。実際のところ農家やめられた方は周りの人で農地分けちゃうじゃないですか。それから、後継者が問題になつているので、そういうことにも取り組んでくれればいいなと思います。

——皆さんのお話の中から、今後更別村がどう変わり、どう進むべきかが見えてきました。本日はお忙しいところありがとうございます。

(更別村役場3階応接室)

〈座談会出席者〉(年令順)

◆谷垣良一 (たにがきりよういち)

昭和21年生/カントリーパーク臨時職員/兵庫県丹波市/平成20年更別転入/登山写真が趣味/上更別区

◆浅井信和 (あさいのぶかず)

昭和23年生/多面的機能支払交付金事業事務局/神奈川県川崎市/平成17年更別転入/車で遠出をしたい/緑町

◆山本 昭 (やまもとあきら)

昭和50年生/畜産業/東京都八王子市/平成15年更別転入/和牛素牛生産、規模拡大したい/勢雄区

◆渡邊正和 (わたなべまさかず)

昭和53年生/飲食業/「かつこう料理店」/東京都杉並区/平成23年更別転入/更別のイベントと一緒に参加したい/勢雄区

◆浅井幸子 (あさいさちこ)

昭和23年生/無職(主婦)/神奈川県川崎市/平成17年更別転入/家庭菜園多種類を失敗しない工夫/緑町

聞き手 赤津寛一郎

議会議員の報酬のおはなし

議員はその役職によって報酬月額が違います。このコーナーでは平成7年以降の報酬月額の改正状況をご紹介します。

議長	平成7年12月	297,000円
	平成15年7月	275,000円
	平成17年4月	242,000円



特集2

今、なぜ活性化なのか

向かうか！ 地方議会と議員の役割

議員 討論

近年、各地方議会では改革の取組みが行なわれています。

平成12年に地方分権一括法の施行に伴い、機関委任事務の廃止をはじめ、地方自治体の自主性・自立性が拡大し、議会の権限が及ぶ範囲も大幅に拡大するなど大規模な制度改革が実施されました。このような状況で、平成18年北海道栗山町議会は議会の役割などを定める議会基本条例を制定し、このような議会改革の動きは、全国の地方議会に広がっていき

ました。
改革とは一体どういうことでしょうか。辞書を引いてみると、「従来の制度などを改めてよりよいものにする」とあります。地方分権が進展し、住民自治の代表的存在である地方議会とその議員の責任とあり方が問われているのだと思います。それでは、

木山 幸則 議長

議会改革とは



プロフィール

生年月日 昭和21年8月15日
行政區 更別東区
座右の銘 初志貫徹
趣味 カラオケ
当選回数 4回

と。

本村議会は、これまで反問権や自由討議の導入、ナイター議会の実施や議会報告会の開催などの改革に取り組んでまいりました。本村議会の議員定数は8名です。少数議会ではできないことがあるかもしれませんが、少数議会だからこそできる改革というものがあるのだらうと思っています。それはなんといつても議会と村民との距離は努力次第でいくらでも縮めることができるということではないでしょうか。そして、議員自らの資質向上のため、常に努力を怠らないことが大切で、この努力がなければ本質的な議会改革とはならないと考えています。我々議員は切磋琢磨し、村民の皆さんとともに歩む議会の実現に向け努力してまいります。

何を改めたらよいのでしょうか。議会改革が語られる時によく言われることは、次のようなことです。
①閉鎖的な議会から、住民に開かれ、住民参加を取り入れる住民と歩む議会に変わること。
②執行機関の追認機関からそれと切磋琢磨していく議会に変わること。
③議会が議員による執行機関への質問だけの場から議員同士の討議を中心とした議会運営に変わること。



どう立ち

高橋 清美

議会運営
副委員長

議会改革と次世代の議会



プロフィール

生年月日

昭和29年5月25日

行政区 勢雄区

所属委員会

総務厚生常任委員会

産業文教常任委員会

座右の銘 百錬成鋼

趣味 パークゴルフ、温泉

当選回数 2回

私は、現在二期8年目の議員です。二期目の議会改革については、議会報告会を指し、昨年より実施している現状です。目的は、住民の声を議員一人ひとりが聞きとれるか？また、議員はどういう仕事をしているかが主な目的でございます。

行政改革において、定数12人から現在8人に削減され、議会運営をしております。よく議員定数を削減すると、住民の声が行政に届かない、反映されないという意見を聞きますが、行政運営や人口減少を考えますと、定数削減の方向性に進む傾向が続くと推察します。来年は統一地方選挙を迎え、道内でも多くの町村が改選期となり、多くの定数削減が行なわれると伺う次第ですが、削減しても無投票や定数割れが出てくる可能性が高いと推測いたします。だからこそ、私も一人ひとりがこれから変化する時代環境を踏まえた中で、若い人達に議会の役割を理解してくれるような、自らが行動を示し次世代に引き継ぐ議会を目標とし、残された任期をやり遂げるため努力する必要があると考える次第です。

最後になりますが、村民の皆様のご健康、御多幸、そして、少しでも議会の運営に耳を傾けていただけることを願うところであります。

地方分権一括法（平成12年4月1日）が成立以来、地方分権の推進によって自治体の自主・自律がより一層求められています。二元代表制の一翼を担う議会は、制度面からの合意性の機関として、執行機関の具体的政策を最終決定する使命があります。

更別村議会でも平成23年以降、精力的に議会活性化に取り組み、議会の役割・責務・情報公開と村民参加の議会活動等、議会のあり方を模索し進化を目指し具体的な方策を求めるために7人の議員各氏に語ってもらった。

堂場 聡志

総務厚生
常任委員長

議会改革



プロフィール

生年月日

昭和17年5月28日

行政区 本町

所属委員会

総務厚生常任委員会

座右の銘 堅忍質直

趣味 魚釣り

当選回数 3回

議員定数8名（現議員数7名）の少数議会のなかで、議会運営委員会、総務厚生常任委員会、産業文教常任委員会構成が更別村議会。議会活動を住民の皆様様に報告し意見交換を目的に議会報告会を、住民の方が傍聴しやすく夜間議会を開催し多くの住民の方の参加を期待したのですが住民の方の参加は少なく関心の薄さを感じられる。多くの住民の皆様の見解、要望等を聞き議会に反映させ議会と村民が一体となつて村政のチェックをしなければならぬと考えます。議員間討議も必要、委員会などで議員がそれぞれ質問、意見を述べますが、それに対して他の議員が反論などを行なうことなく言いっぱなしである、議員間の議論の活発化に欠けてくる、議員同士での議論を交わすことも必要ではないかと思う。議会改革には情報公開、住民参加、議会機能等の議会活動強化が必要である。



松橋 昌和 議会運営委員長



プロフィール

生年月日 昭和22年11月28日
行政区 香川区
所属委員会 総務厚生常任委員会
産業文教常任委員会
座右の銘 真実一路
趣味 戦記もの、日本酒
当選回数 2回

地方議員に求められる姿

最近、地方議会、特に個人議員の発言、行動等がマスコミに報道され、辞任にまで発展している事例が数多く発生しています。議員定数が4名減の

議会運営の活性化、議員の資質向上、村民に開けた議会を目指し、3年間取り組んできました。

検討を始めるにあたり、住民アンケートを行い、多くの意見をいただき方向性を模索してきました。

活性化に向けては、8名の議員定数による改善策として、予算・決算審査特別委員会の廃止、自由討議の導入をしてきました。発言者の増加を目的にしていきましたが、本会議での審査により、審査の過程が多くの人に伝える事に繋がりました。論点の明確化に向けて、逆質問権を導入した事により、一般質問に効果が出てきました。

資質向上、開けた議会に向けては、ナイター議会、議会報告会を開催してきました。議会傍聴機会が広がり、村民にも少しずつ村づくりに関心を持ってもらえてきたのではないかと思います。各種団体と報告会を開催し、議会活動を知って頂き、住民の声を

8名体制になり、2期目が終了間近の現在、少数議会のあり方、問題点はどうなのか、考える機会が多いです。

幕別町との合併協議の際、更別村の将来を決する重大案件であるから、住民投票で決めるべきとの請願書を提出しました。特別委員会は、幕別、忠類との任意協入りを容認しており、「その枠組みを変えようとする事は、村民の混乱を招く」との事で、11対1で不

採択となり、その後有志で住民投票条例の制定を求めて署名活動を開始、千人を超す住民の皆様の署名をいただき提出し、首長の判断で合併協議会からの

聞いた事はとても大きな一歩でした。住民と接する機会が増える事で、議員個々が学ぶ事が多く議会活動に反映していく事が求められます。

取り組みを進める中、課題も多く見えてきました。

離脱宣言で今日の更別村が存続している現在、初めて住民の声が村政に届いたのかと思います。結果としての基礎自治体レベルの地方議員の姿として

①有権者からの見直しを迫られている議会の役割
②お金の使い方に非常に厳しい世論
③住民の声をどう村政に届けるのか

結論として人数を減らしてプロ化するのか、逆に人数を増やしてボランティア集団とし、議員報酬なしで手当程度にするのか、少数自治体とはいえ、病院経営、教育、老人ケア等極めて多様な事務を行なっている市町村、画一的かつ固定的な地方自治で住民が満足するのかと問われれば、多種多様な意見を求めた議員個々が意見をぶつけ合い、最良の結論を求めるのであれば、現在の人数は充分ではないと言わざるをえない。

定期的なアンケート実施の必要性、日中行なわれる審議や委員会の傍聴への取り組み、多くの住民が積極的に参加できる体制づくり、議会運営基準の見直し等まだまだ道半ばです。

高木 修一 産業文教常任委員長



プロフィール

生年月日 昭和38年3月4日
行政区 中央町
所属委員会 産業文教常任委員会
座右の銘 日々三省
趣味 読書
当選回数 1回

議会改革と活性化に取り組んで

改革や活性化には、各自自治体、議員定数等各々のニーズに沿って進めなければなりません。他町村の議会の取り組みは、一つの方法論しかありません。議会として何ができ、議員個々て何をすべきか検討を継続していかなければならないと思っています。一つ一つの積み重ねが、よりよい議会、開かれた議会へ近づいて行く事と信じて進んで行きたい。



本多 芳宏 副議長

住人を身近に感じる議会を目指して



プロフィール

生年月日 昭和29年4月22日
行政 区 東栄区
所属委員会 総務・厚生・常任委員会
産業・文教・常任委員会
座右の銘 誠実
趣味 ドライブ
当選回数 4回

最近「議会改革」という言葉をよく聞くようになりました。「行政改革」は古くからありますが、条例や予算が決まらないと動けない執行機関と違って、自治体の議会は、何が行なわれているかわからない、議員個々の活動が見えない、また、議会の役割のひとつである行政機関を監視する機能が働いていないのではないかなどの指摘を耳にしま

す。そのような中、各自治体議会は、議会が抱える問題点を様々な取り組みで改善し、議会の役割を見直そうという改革の動きが出てきました。更別村議会も平成23年改選後、各議員より議会改革をすべきとの声も多く、数回の協議を重ね、6項目に絞り、取り組みを始めました。議会改革の一つとして、村民にわかり易い議会・開かれた議会を目指し、議会報告会・意見交換を実施しています。

村民の意見、要望を議会として村政に反映させるよう取り組みを進め、村民にとって議会が身近に感じてもらうよう活動しています。

現在、本村の議員定数は8人ですが、削減によって村民の声が届かない、チェック機能の低下、改選期の無投票や定数割れなど危惧されます。今後、議員定数についても議論の必要があると思います。今年度は、更別村においても地方交付税が大きく削減されました。地方財政は今後も厳しさを増してくると考えられます。行政・議会はもとより、村民ともに三者一体となっていつまでも住み続けたいまちづくりに努力していかなければいけないと思っています。

赤津寛一郎

議会選出
監査委員

徹底した議論が必要



プロフィール

生年月日 昭和17年6月21日
行政 区 本町
所属委員会 産業・文教・常任委員会
座右の銘 我以外皆我師
趣味 パークゴルフ
当選回数 7回

て、議会は自らのことは決めてしまえばすぐに実行できる組織です。この4年間、私の公約は「議会改革」でありましたが議会改革とはとても大変なことです。更別村議会も活性化に取り組んでいます。が、まだまだ道半ばであります。社会は日々変化をしています。更別議会もナイター議会や報告会を実施していますがこれだけでは議会改革ではありません。

めの論議でなくてはなりません。それがありません。じゃあ……改革にはどうするかであります。まず全議員の改革への心一つにし議員各位の温度差をなくし議長の強力な理念・リーダーシップと指導性が重要です。特に常任委員会は議員が議論を深める場であり徹底した議論をする、有能な役場職員が相手ですので、議員研修と情報交換の勉強会、報告会は何度くりかえし、理解を得ることが大切、住民との意見交換はより議員力がつきます。議会と住民との距離が遠いという現実、まさに自治の根幹に関わります。議員も住民も危機感を共有しながら議会の質を高めることに尽きると考えます。

第3回定例会

平成25年度6会計決算を認定 子ども・子育て支援法等の施行に伴い3条例を制定

第3回定例会は、9月10日から19日までの10日間の会期で行われました。

開会日の10日は、人事案件、条例の制定3件、組合規約の変更、村道路線の廃止並びに認定、一般会計ほか2特別会計補正予算、陳情、一般会計ほか5特別会計決算の認定について審議され、条例の制定3件と陳情は常任委員会に付託されました。

11日は前日に引続き決算認定が審議され、全会計が認定されました。

最終日の18日は、追加提出の財政健全化に関する報告がされ、常任委員会に付託された案件、意見書案が審議されました。

また、ナイター議会で2人の議員が3項目について一般質問を行ない、理事者の見解を質しました。

提案された議案等はそれぞれ可決され、会期を1日間残し、閉会しました

◎9月10日審議分

人事案件

▼教育委員の任命同意

教育委員の任期満了に伴い、次の方の再任に同意しました。

上更別南区 渡辺正男氏

条例制定(付託)

▼特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に

関する基準を定める条例制定

子ども・子育て支援法の制定により、特定教育・保育施設の運営に関する基準及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めるものです。

総務厚生常任委員会に付託され、会期中に審査することになりました。

▼放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

児童福祉法の改正により、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定めるものです。

総務厚生常任委員会に付託され、会期中に審査することになりました。

▼家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

児童福祉法の改正により、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めるものです。総務厚生常任委員会に付託され、会期中に審査することになりました。

規約の変更

▼北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

組合への加入者変更に伴い規約の一部を変更するものです。

村道路線の廃止・認定

▼村道路線の廃止

村道路線の延長に変更が生じたため、上更別東1条通り外2路線を廃止するものです。

▼村道路線の認定

村道路線の延長に変更が生

じたため、上更別東1条通り外1路線を認定するものです。

補正予算

▼一般会計補正予算(第3号)

主には、北海道市町村備荒資金組合積立金、交流拠点施設建設事業助成金、財政調整基金積立金の増額で、3千586万円の追加補正を行い、総額43億36万5千円となるものです。

▼国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

国民健康保険事業基金積立金及び過年度過誤納還付金を増額し、2千138万9千円の追加補正を行い、総額5億2千195万4千円となるものです。

「診療施設勘定」

人事異動に伴う人件費の増額により、188万8千円の追加補正を行い、総額3億5千158万3千円となるものです。

▼介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

「事業勘定」
介護保険事業基金積立金及び

過年度過誤納還付金の増額で、486万5千円の追加補正を行い、総額2億9千790万9千円となるものです。

陳情

▼地方版「子ども・子育て会議」の設置と労働者代表の参画に関する要請書

子ども・子育て会議を設置するとともに、会議の設置にあたっては、保護者、事業主、労働者など、多様な関係者の参画機会を保障し、審議内容が尊重される仕組みをつくることを求める陳情です。総務厚生常任委員会に付託され、会期中に審査することになりました。

質疑・応答

◎一般会計補正予算(第3号)

松橋議員 歳出の中間管理機構集積協力交付金追加70万円の内容は。

産業課長 1件2.9haの土地について、この事業を利用して土地を貸したいという申し出があったことから補正するもの。

松橋議員 歳入の農地中間管理事業委託金追加38万6千円の内容は。

農業委員会事務局長 農地中間管理機構である北海道農業公社が村に対し事業を委託し、事務委任された農業委員会が委託金の交付を受けるもの。

松橋議員 交流拠点施設建設事業助成金が追加されているが、農村公園の再整備、開発跡地の活用と併せた市街地活性化の考え方は。

村長 開発跡地については、うどんの試作品づくり等に活用することで計画したが、議会において認められなかった。計画を作り直すには時間を要する。開発跡地をないがしろにして、できるものから進めているというつもりはない。交流拠点施設、農村公園の再整備、開発跡地の活用が有機的に機能するよう模索しながら進めている。

堂場議員 交流拠点施設、農村公園の再整備、開発跡地の活用を併せて検討しているというのであれば、現在、開発跡地をどのように活用しようと考えているのか。

村長 開発跡地は特産品

づくりの拠点にしたいと考えている。

堂場議員 情報の提供が遅い。住民に理解されるよう計画し、説明していただきたい。

村長 情報の提供が遅いという指摘を度々いたただくので、早めにご相談させていただきたい。大いに反省し進めていかなければならないと考えている。

◎9月10・11日審議分

決算認定

▼平成25年度一般会計歳入歳出決算認定

▼平成25年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

▼平成25年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定

▼平成25年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定

▼平成25年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定

▼平成25年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
以上の6件は、2日間の審査の結果、全て認定されました。

質疑・応答

【一般会計(歳出)】

堂場議員 昨年の風雪害による倒木の処理はどのような状況か。

産業課長 平成26年度から事

業を実施、これから伐木を行なう予定。

堂場議員 早く処理したほうが良いのではないか。

村長 災害復旧等の事業とならなかつたため、なるべく経費をかけないよう検討した。今後、鋭意進めていく。

松橋議員 地域おこし協力隊の活動内容は。

企画政策課長 特産品開発で2名採用し、うどん(生麺)の製造、普及に取り組んでいる。

産業課参事 観光で1名を採用し、大収穫祭などイベントの企画、フェイスブック等による観光PRに取り組んでいる。

松橋議員 地域で交流しながら

平成25年度 各会計決算

＜一般会計＞

歳入	48億3595万1千円
歳出	47億4533万4千円
差引	9061万7千円

＜特別会計＞

【国民健康保険】事業勘定

歳入	5億4307万6千円
歳出	5億2159万4千円
差引	2148万2千円

【国民健康保険】診療施設勘定

歳入	4億1084万0千円
歳出	4億1074万0千円
差引	10万0千円

【後期高齢者医療】

歳入	4999万6千円
歳出	4958万2千円
差引	41万4千円

【介護保険】事業勘定

歳入	2億5768万4千円
歳出	2億5758万5千円
差引	9万9千円

【介護保険】サービス事業勘定

歳入	185万0千円
歳出	184万2千円
差引	8千円

【簡易水道】

歳入	4426万7千円
歳出	4413万4千円
差引	13万3千円

【公共下水道】

歳入	1億5004万1千円
歳出	1億4991万2千円
差引	12万9千円

※千円未満は四捨五入

ら、中心的な役割を担うというのが本来の地域おこし協力隊事業の目的ではないか。

副村長 地域おこし協力隊は、地域の課題に取り組むもので、福祉や教育などの分野において活動している例もある。更別では特産品開発、観光の分野で活動している。このような活動は地域と密着することで活動の幅が広がるものと思う。

高木議員 地元雇用促進事業助成金について、活用したいが住宅がみつからないため雇用できないという実態もあるようだが、対策を検討しているか。

産業課参事 住宅の状況を考慮し、建設水道課とも連携しながら事業を進めていく。

松橋議員 街路灯のLED化はどこまで進んでいるのか。

建設水道課長 平成27年度で全て終了の予定。

松橋議員 施設の清掃委託料が昨年に比べ増加した理由は、**総務課長** 昨年行なっていない配水池2か所の清掃を行なったため。

本多議員 教員住宅の入居状況は。

教育次長 更別小学校13戸のうち8戸入居、上更別小学校2戸のうち2戸入居、中央中学校7戸のうち4戸入居している。

本多議員 空いている教員住宅を公営住宅として扱うよう検討してもらいたい。

【一般会計（歳入）】

堂場議員 村税について、外国人である納税者が出国したことにより滞納分を不納欠損としている。対策が必要ではないか。

住民生活課長 不納欠損が起らないよう、常に情報収集に努め、健全な納税者に不公平感を与えないよう日々努力している。外国人についても、転出後の住所を確認しながら滞納が発生しないよう徴収に務める。

松橋議員 消費税が増税となつた分社会保障に充てられる財源は増えるのか。

総務課長 自治体に交付される地方消費税交付金は、一般財源として扱われ、特定の事業の財源にはならない。

村長 消費税がどのように使われているのか、明確にするよう国に要望してまいりたい。我々も村民に説明しなければならぬ。

堂場議員 雪捨場使用料の内容は。

建設水道課長 電柱の建替えに伴い、N・T・Tに雪捨場用地の使用を許可したもの。

松橋議員 公営住宅の空き状況は。

建設水道課長 現在、2戸空いている。

松橋議員 コム二団地の分譲の状況は。

企画政策課長 平成25年度末で8区画が残り、今年度3区画分譲しているので、残り5区画となっている。

松橋議員 今すぐ更別に住みたいという人にとって住宅環境が厳しいのではないか。

副村長 住宅地については、遊休地、未利用地の積極的な活用を検討したい。また、民間の賃貸住宅建設補助について、現在の整備状況をふまえ、今後さらに必要を検討したい。

高木議員 昨年、著しく誠実性を欠く者に対し納税を促進するため、特別措置を行うことを目的に、更別村村税の特定滞納者等に対する特別措置

監査委員の審査意見

監査委員は、毎会計年度、村の決算が正しく行われているか審査し、村長に意見書を提出します。村長は、監査委員の意見書を付けて、決算書を議会に提出し認定を受けます。

…意見書の概要（審査結果）…

審査に付された平成25年度一般会計ほか5特別会計の歳入歳出決算に関し、各会計歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書並びに基金管理運用状況調に基づき審査の結果、計数に誤りは認められなかった。また、健全な財政運営に努めるとともに、基金の運用についても適正に執行されていたと認められた。

に関する条例を制定したが、その運用状況は。

住民生活課長 16名の方に特定滞納者認定予告通知書を送付し、うち9名の方から弁明書が提出された。その内容が納税誓約に近いものであり、条例の目的である納税の促進に効果が現れている。

【財産に関する調書】

本多議員 基金について、いくら積立てるのか、目標はあるのか。

村長 ここ数年、交付税の確保により基金の積み増しを行なってきた。基金の積立では限界に近づいている。今後、目標を持って取り崩し、村の振興発展に使っていかねばならないと考えている。

意見書

国に対して意見書を提出しました

◎林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

道では、平成21年度に国が創設した「森林整備加速化・林業再生基金」を活用し、間伐や路網の整備、高性能林業機械の導入など、森林資源の循環利用の実現に向け支援してきました。今後、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、こうした取組をさらに加速させ、地域の特性に応じた森林の整備・保全を着実に進めるとともに、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図ることを求めるものです。

(提出者) 高橋清美 (賛成者) 松橋昌和

◎釧路地方裁判所帯広支部における労働審判の実施を求める意見書

平成18年4月に始まった労働審判制度は、個々の労働者と事業主との間に生じた労働関係に関する紛争を、裁判所において、迅速、適正かつ実効的に解決することを目的とした制度であり、制度の導入以来、全国的に労働審判事件の申立件数は増加しています。しかしながら、釧路地方裁判所管内においては、労働審判事件を取り扱っている裁判所は釧路地方裁判所本庁のみであり、十勝地域の住民ないし企業が労働審判事件の申立てを行うためには、釧路市まで出向かなければならず、時間的、経済的な負担を強いられることから、申立ての障害となっていることが推測されます。このため、釧路地方裁判所帯広支部において、労働審判事件の取扱を開始するとともに、必要な裁判官及び裁判所職員の増員並びに施設の整備を行うことを求めるものです。

(提出者) 本多芳宏 (賛成者) 松橋昌和

◎電気料金再値上げに反対する意見書

北海道電力は、7月31日に電気料金値上げの認可を国に申請しました。今回の値上げ案は、昨年9月の値上げの2倍を超える大幅なものです。家庭向けも企業向けも、道民のくらしと営業に重大な影響を及ぼすことは明らかであり、道民はもとより経済界、道内自治体からも厳しい批判の声があがっています。北海道電力は、値上げ理由を泊原発の再稼動が遅れ、電力供給の8割を依存する火力発電の燃料費が急増したためとしています。今回の再値上げ案の発表を前に、国から北海道電力に対し一層の経営努力による経費圧縮を求める要請があったと報道されているにもかかわらず、求められたような経営努力を行わず、社長ら重役陣の人件費も削減せずにもっぱら道民に負担増を押し付ける内容です。このため、北海道電力の電気料金再値上げに反対するとともに、認可申請に対して厳しい姿勢で臨むことを求めるものです。

(提出者) 松橋昌和 (賛成者) 高木修一

◎9月18日審議分

報告

▼平成25年度財政健全化判断比率及び公営企業に係る資金不足比率の報告
平成25年度の決算については、健全段階と判定された旨の内容が議会に対して報告されました。

条例制定(審議)

▼特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例制定
▼放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定
▼家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定
10日に付託を受けた総務厚

陳情(審議)

生常任委員会で原案可決すべきものと決定し、委員長の報告どおり可決されました。
▼地方版「子ども・子育て会議」の設置と労働者代表の参画に関する要請書
10日に付託を受けた総務厚生常任委員会で採択すべきものと決定し、委員長の報告どおり採択されました。



会議録は
閲覧できます！

本会議などの内容を記録した会議録は議会事務局、ホームページで閲覧できます。

詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

議会事務局 (TEL52-2117)

EXTRA!!! The Times EXTRA!!!

委員会レポート

●総務厚生常任委員会

▼調査事項

交流拠点施設整備に関する検討状況について

▼調査期日

7月28日

▼調査結果

(1)更別村市街地活性化交流施設建設計画書提出までの経緯

村では、平成20年度に更別村市街地活性化基本計画

素案が策定され、平成21年度には、市街地活性化事業

の核となるべき施設の必要性、場所について協議され

た。平成22年度に更別村市街地活性化実施計画が策定

され、賑わい創出プロジェクト①交流拠点施設の整備

が位置付けられた。なお、交流拠点施設用地の取得に

ついて権利者側の都合により一時凍結の状態となった

が、その後調整が進み、平成25年2月に取得している。

平成25年7月に商工会が市街地活性化交流施設に係る

「基本構想報告書」を村に提出し、さらに内容を精査

した計画書を作成すること、建設にあたっては民設民営

で行なうことが確認された。また、施設規模、建設費、

維持管理費等について村と商工会による協議が行なわ

れた。平成26年6月に商工会長が更別村市街地活性化

交流施設建設計画書を村に提出し、建設費等助成につ

いて要望を行なった。

(2)更別村市街地活性化交流施設建設計画書の概要

交流拠点施設は、商工会館の機能を持ちながら、賑

わいの場として市街地商店街に訪れた人だけでなく、

多くの地域住民が気軽に足を運んでもらうことのでき

る、公共性の高い「地域のためのコミュニティサロン」

も目指している。施設建設の手法は「民設」方式とし、

事業主体は商工会が担う。施設は市街地活性化交流館、

前庭、シンボルから構成され、市街地活性化交流館に

は、エントランスホール、バス待合コーナー、バス定

期券売り場、金融機関ATM、事務室などを設置することとしている。事業地は、

村有地である河西郡更別村字更別南1線91番地20及び

21で、事業期間は平成27年度予定としている。敷地面

積は793.50㎡、建築面積は367.45㎡、構

造は鉄骨造り、一部2階建て、延床面積は466.3

5㎡となっている。

(3)村の支援策の検討状況

商工会は、商工会法の営利を目的としてはならない

という原則に則り、商工業の総合的な改善発達を図り、

あわせて社会一般の福祉の増進に資することを目的としている。

このような中で、商工会では市街地活性化における

賑わい創出の実現に向け、民設民営による交流拠点施設を整備し、「憩い」、「交流」、

「産業連携」の3つの場を設定し、中心市街地の活性化に向けて活動を推進する

よう計画している。このことから、村では交流拠点施設

の建設に関連し、次の支援策を講ずることを検討し

ている。

①建設敷地の貸与

交流拠点施設の建設敷地として、河西郡更別村字更別南1線91番地20（宅地3

96.84㎡）及び河西郡更別村字更別南1線91番地

21（宅地396.86㎡）を貸与する。

②関連事業の実施

建設敷地に村事業としてポケットパーク及び思いやり駐車場を整備する。

③建設費の支援

交流拠点施設の建設費について、自己資金充当後の

不足分に対し補助金を交付する。補助金の財源として

過疎債の借り入れを見込んでいる。

④運営費の支援

交流拠点施設は民設民営であることから、自立した

運営を基本とするが、現行の商工会運営事業助成金の

施設管理費（家屋費）に準ずる割合で運営費に対し支

援する。

⑤現商工会館の譲渡

現商工会館を無償で譲渡する。なお、商工会において、地域振興、商業の活性

化に資する施設として活用することを条件に売却し、交流拠点施設建設費の自己資金とすることを想定している。

産業文教常任委員会

▼調査事項

酪農・畜産の現状と振興

について

▼調査期日

5月29日、8月19日

▼調査結果

(1) 村営牧場の平成26年度入牧頭数は、前年度比100頭減となっている。離農や個人での預託等が減少の主な原因となっており、今後、入牧頭数が減れば収入の確保が難しく、飼料等の高騰により経費も圧迫され、運営に影響が出るのが懸念される。運営体制では人材の確保も難しく、受精等の専門員の配置の要望もあるが難しい現状である。

(2) 浦幌町模範牧場は、国の共同利用模範牧場設置事業で整備され、総面積383.4ha、3地区で運営され、通年預託、哺育育成を行い、夏季750頭、冬季530頭、哺育130頭を受け入れている。平成23年1月より指定管理者制度を導入しており、十勝太、静内団地

の2か所を視察した。

指定管理者は株式会社で職員15名体制により管理運営を行なっている。株式会社代表者は町直営時代から牧場の管理運営に携わっていた職員で、平成7年に草地の効率的運用、循環型の集約放牧技術をニュージーランドで学び、ニュージーランド方式を実践している。飼料、堆肥を施設内で賄うことにより経費の適正化に繋がっている。

(3) 村内における酪農・畜産の現状は危機的な状況にあり、早期の振興策及び支援体制の構築が重要である。村及びJA・生産者が協力し協議を進める必要がある。

村営牧場の方向性については、関係機関の協議が進められている現状では指定管理者制度導入の検討は難しい。通年預託、哺育育成の受け入れについても飼料の確保、施設の整備が大規模となることから、更別村農業経営・生産対策推進会議

における十分な検討が求められる。今後も産業文教常任委員会において重要課題と位置付け、継続的に調査を行なう必要がある。



浦幌町模範牧場を視察しました

更別村商工会との 議会懇談会を開催しました

8月26日、商工会館において商工会の会員の皆さんと議会議員による議会懇談会を開催しました。

会員の皆さんからどんぐり村の盆踊り、全日本パークゴルフinさらべつ、買い物弱者対策などについて多くの意見が述べられ、活発な意見交換をすることができました。

皆さんからお聞かせいただいた貴重なご意見は、今後の議員活動の参考とさせていただきます。

商工会の皆さんありがとうございました。



議会議員と 懇談しませんか？



議会では、村政全般にわたって村内の団体等と意見交換を行うため、議会懇談会を開催しています。皆さんからいただく貴重なご意見は、議員活動の参考とさせていただきます。議会事務局までお気軽にご連絡ください。

議会事務局 (TEL52-2117)

子ども・子育て支援新制度の取り組みについて

長——保護者の方が安心して子育てできる環境づくりを



高木議員

高木議員 平成27年4月に子ども・子育て支援新制度がスタートし、各自治体は地域のニーズに基づき計画を策定することとなります。現在、新制度への取り組みとして、検討会議の開催、保護者へのア

村長

村では、子ども・

子育て支援法の施行に伴います「子ども・子育て支援事業計画」策定のため、平成25年度に未就学児、小学生の保護

そこが聞きたい

いっぱん

質問

第3回定例会は2人の議員が3項目について一般質問を行いました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

ンケートが行なわれているところですが、更別の未来を決めるほどの重要性があると考えます。村として方向性を示すことが必要ではないかと思いますが、さらべつスタイルのプランがあればお伺いいたします。

者を対象にアンケート調査を行ない、素案の作成を進めているところですが、未就学児の施設につきましては、ご承知の通り、村立の更別幼稚園と上更別幼稚園、社会福祉法人運営の保育園が担っております。また、学童保育所や子育て支援センターは、社会福祉法人に業務を委託して実施しております。保護者の就労状況などにより幼稚園か保育園を選択して利用することができるものですが、一段と少子

化が進み、園児の減少が顕著となる場合、少ない人数を2箇所で保育することの合理性や、どちらの園児も更別小学校に入学すること等を考えますと、将来的に、どういった子育て環境が望ましいのか充分検討していくことが必要であると考えています。また、上更別幼稚園は、園舎の老朽化が進んでいますので、早期の改善が必要となっています。上更別幼稚園、上更別小学校は、上更別地域の子育て、教育、文化の拠点施設であると同時に、上更別市街地の形成と上更別地域の活性化を図る重要な施設であり、活力ある地域維持のために、存続をし

ていかなければならないと考えています。また、上更別には、0歳児から2歳児を保育する施設や機能が有りませんので、幼児教育と保育機能を併せ持つ施設、小規模な子ども園的なものの整備を考える必要があると思っています。様々な状況下においても、保護者の方が安心して子育てできる環境づくりを進めることが少子化対策の一つと考えています。なお、こうしたことについて、保護者をはじめ地域の皆様と、十分協議し、進めてまいりたいと考えています。

買い物弱者の支援について

長——必要性が認められ、実施主体が組織される場合に



赤津議員

の立ち上げ資金を助成する事業を開始する方針を固めました。このチャンスを活かし事業を推進すべきと思います。岡出村長の御所見をお伺いいたします。

赤津議員 農林水産省は、買

い物弱者が増加している地域を対象に買い物支援サービス

村——長 農林水産省の事業

につきましては、農村集落活性化支援事業として、平成27

年度からの新規事業として計画されているところです。本事業は、「地域全体の維持・活性化を図るための体制構築」を図るというもので、農村地域において、従来から機能してきた組織（集落営農組織、NPO等）を活用し、地域の維持・活性化に必要なサービス（農産物の庭先出荷、高齢

農家に対する声かけ、農業資材の購入サポート等）の提供が可能な体制を支援するというものです。本事業は、農林水産省の事業でありますので、農業と関連するものであるというのですが、事業内容の詳細は、今後の情報を待たなければならぬものです。現在、農業者の中では、買い物等の弱者は、まだ少ないものと思われませんが、農村地域や市街地域に関わらず、全村的に買い物等弱者が増加の傾向にあり、何らかの対策が必要

と認識しているところです。また、高齢化などを要因とする買い物弱者が増加する中で、国も全国的な課題として取り組みを進めており、各省庁から様々な事業メニューが出されておおり、本村の買い物等弱者の現状把握、農業や商工業関係者、NPO等と事業化の可能性を検討・協議し、事業の必要性が認められ、実施主体が組織される場合、本村に適した事業メニューとして取り組んで参りたいと思っております。

教育委員会制度改革について

長——教育課題、教育のあるべき姿を共有

赤津議員 自治体の教育制度

を改革するための改正地方教育行政法が可決、成立しています。①教育委員会とはどのような組織か、②改革のきっかけはなんだったのか、③どのように改革するのか、④58年ぶりの改革は難しいのではないか、⑤更別としてどのように受け止めているか、以上5点について教育長のご見解

をお伺いいたします。

教育長

①教育委員会は、地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する機関として設置される合議制の執行機関で、5人の委員で構成されています。委員長は、委員会の会議を主宰し、委員会を代表します。教育長は、教育委員会の

権限に属するすべての事務を執行するとともに、教育委員会のすべての会議に出席し、議事について助言するなどが職務となります。

②いじめ自殺事件などをめぐり、学校などの教育機関をチェック、指導する立場の教育委員会が機能せず、その役割を果たしていないことが大きな要因ではないかと感じています。

③教育行政における責任体制の明確化、教育委員会の審議の活性化、迅速な危機管理体制の構築、地域の民意を代表する首長との連携強化、いじめによる自殺等が起きた後においても再発防止のために国が教育委員会に指示できることを明確化することとされています。

④教育行政の基本構造は大きく変わりますが、基本的な考え方に変わりはありませんので、教育基本法の趣旨に基づいて行われるものと考えています。⑤今回の制度改革でいわれて

いる教育委員会の課題が、必ずしも全てが更別村にあてはまるとは考えておりませんが、制度改革による仕組みが、より機能を発揮するために、首長と教育長が十分な意思疎通を図り、教育委員会との間で、教育課題、教育のあるべき姿を共有し、それぞれの役割と責任を果たしていくことが大切であると考えています。

定例会審議結果

平成26年第3回村議会定例会（9月10日～9月18日）

件名		議決結果
報告	・平成25年度財政健全化判断比率及び公営企業に係る資金不足比率の報告の件	報告済
認定	▼平成25年度各会計歳入歳出決算認定 ・一般会計 ・国民健康保険特別会計 ・後期高齢者医療事業特別会計 ・介護保険事業特別会計 ・簡易水道事業特別会計 ・公共下水道事業特別会計	認定議決 " " " " "
案	▼人事案件 ・教育委員会委員の任命につき同意を求める件 ▼条例の制定 ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例制定の件 ・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件 ・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件 ▼規約の変更 ・北海道市町村職員退職手当組合規約の変更の件 ▼村道路線の廃止・認定 ・村道路線の廃止の件 ・村道路線の認定の件 ▼補正予算 ・平成26年度一般会計補正予算(第3号)の件 ・平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の件 ・平成26年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)の件	同意議決 原案可決 " " " " 原案可決 原案可決 原案可決 " " " " 原案可決 " "
議	・地方版「子ども・子育て会議」の設置と労働者代表の参画に関する要請書の件	採択
意見書	・林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書の件 ・釧路地方裁判所帯広支部における労働審判の実施を求める意見書の件 ・電気料金再値上げに反対する意見書の件	原案可決 " "

議会日誌

8月	9月	10月
4日 十勝圏複合事務組合議会、十勝環境複合事務組合議会、十勝中部広域水道企業団議会に議長出席 ばんえい十勝応援ツアーに議長出席	9日 全員協議会 12日 産業文教常任委員会 19日 議会懇談会 26日 十勝町村議会議長研修会に議長出席	13日 更別村敬老会に議長出席 第五旅団創立十周年、帯広駐屯地創設六十三周年記念行事に議長出席 17日 総務厚生常任委員会・産業文教常任委員会連合審査会 18日 総務厚生常任委員会 27日 更別中央中学校文化祭に議長出席
7日 全日本オープンパークゴルフinさらべつに議長出席	1日 更別村功労者表彰式に議長出席 3日 議会運営委員会 24日 議会に全議員出席 25日 札幌さらべつ会に高橋議員、本多議員出席	26日 農村公園大型遊具オープニングセレモニーに議長出席
10月18日 第3回議会定例会		

傍聴においでください

議会では定例会（3、6、9、12月）と臨時会のほかに、「総務厚生」と「産業文教」の2つの常任委員会を開催しています。

開催については防災無線（村内放送）で、お知らせします。

村民の皆さんの傍聴をお待ちしています。

編集後記

▼農作物の収穫も期待されていた小麦から始まりましたが、満足のいく収量が得られず心配されましたが、8月、9月の順調な天候に恵まれ、馬鈴薯・豆類は、平年を上回る収量が得られ、豊穡の秋が期待できそうです。

▼今年も、日本各地で気象災害・火山噴火など災害が多発しております。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。更別村は立地条件に恵まれ、あらためて安心して暮らせる街だなと感じております。

▼第2次安倍改造内閣が発足され安倍総理は地方創生を最重要課題と位置づけています。これから議論を重ね、どのような政策で少子高齢化、人口減少する地方の活性化を目指すのか、期待するところです。

▼議会広報も今回で150号の節目になりました。特集記事を掲載し特集号として発行いたしました。多くの村民の皆さんに読んで頂けるようお願いいたします。

（本多委員 記）